

学校名： 上殿小学校 授業者： 佐々木 かおり

教材作成者： 佐々木 かおり

授業日時	令和3年 11 月 24 日 (水)	教科・科目	総合的な学習の時間
学年・年次	第3・4学年	児童生徒数	6名
実施内容	上殿の宝を見つけよう	本時/この内容を扱う全時数	30/60
教科書及び教科書会社	本校カリキュラム		

授業のねらい (本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)
○情報を読み取り、「道の駅『とごうち』」にたくさん人がくるわけを考えることができる。
メインの課題 (授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題)
「道の駅『とごうち』」のよさを考えよう。
児童生徒の既有知識・学習の予想 (対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)
道の駅「とごうち」は、エリア内にある「わくわくランド」をよく利用していることに合わせ、低学年の時に生活科で探検し、学校で栽培したお米を販売した場所であることなど、なじみの深い場所である。店舗には、児童の興味を引く商品やパンフレットなどがあり、楽しい場所ととらえている。 アンケートによると、3名が「道の駅『とごうち』」を「上殿の宝」だ考えている。その理由として、人が良く集まる場所であること、花屋さんがあること、地域の物を販売していること、上殿の町の店みたいなものと考えている。2名は、宝だと思うが、理由ははっきりしないようであった。そして、「道の駅は、全国にたくさんあるから、宝とはいえない」と考えている児童が1名いる。 「道の駅『とごうち』」にたくさんの方が来るのは、花やお土産を買いに来る人が多いからなど、消費者としてのとらえはできると考えられる。しかし、地元の住民による魅力ある商品があることや、インフォメーション機能があることには気づけていないと思われる。
期待する解答の要素 (本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準)
「道の駅『とごうち』」は、他の地域から安芸太田町への出入り口で、多くの方が通り、安芸太田町の人達が作ったいろいろな商品も売っている場所である。安芸太田町のことを知らせる場所でもある。だから、「道の駅『とごうち』」には、人が多く集まる。
各エキスパート<対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください>

<p>A「駅長さんの話」 戸河内インターチェンジのそばにある「道の駅『とごうち』」は、安芸太田町の玄関と言える。店では、地域の方が生産しているたくさんの物を売っている。</p> <p>B「お客さんの声」 安芸太田町で作られたものを売っている。他の所に比べて値段が安い。インフォメーションボードで、町内の観光地の情報が分かる。</p> <p>C「生産者の思い」 道の駅があるおかげで、商品が売ることができる。自分の得意なことが生かせてうれしい。</p>
<p>シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容</p> <p>「道の駅『とごうち』」の課題を知る。</p>

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	<ul style="list-style-type: none"> ○上殿の宝さがしをする見通しを持つ。 ○調べてみたい「上殿の宝」を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ①上殿小学校 ②道の駅 ③崇玄寺の石積み ○「上殿小学校」について調べ、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎、校庭を探検しよう ・歴史を調べよう ・自転車大会記録、卒業制作を調べよう ・調べたことを伝えよう ○「道の駅『とごうち』」について、課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と意見を伝え合って協働して活動を進めている。 ・課題解決に必要な情報が何かを考えている。 ・友達と意見を伝え合って協働して活動を進めている。 ・整理、分析した情報を関連付けながら意見を交換している。
本時	<ul style="list-style-type: none"> ○第三者の意見から、道の駅「とごうち」にたくさん人がくるわけを考える。 	<p>情報を組み合わせ、多面的なとらえをしている。</p>
この後	<ul style="list-style-type: none"> ○町長へ「私たちの思い」として、道の駅「とごうち」をもっと活性化させるアイデアを出す。 	

<p>上記の一連の学習で目指すゴール</p> <p>上殿地域の人、もの、ことに関心を持ち、自ら課題を見つけ、地域の「宝」について調査し、情報を取捨選択しながらまとめ、それらを発信することを通して、主体的・創造的に地域と自分とのかかわりについて考えることができるようにする。</p>
--

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
8分	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○「道の駅『とごうち』」にたくさん人がくるのは、どうしてだろうか。」</p> <p>○学習のめあてを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「道の駅『とごうち』」にたくさん人が来るわけを考えよう。</div> <p>○ジグソーの問題を確認する。</p> <p>・「道の駅『とごうち』」のよいところ3つとその理由を考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習前の考えをワークシートに書き、学習後と比べられるようにする。 ・評価は、3つの資料から3つの良いところを挙げることができたらB。理由を挙げることができたらA。
8分	<p>2 エキスパート活動に取り組む。</p> <p>A「駅長さんの話」</p> <p>B「お客さんの声」</p> <p>C「生産者の話」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート活動に移る前に見通しを持たせる。 ・限られた時間の中で、話し合いが進むように声かけをする。 ・児童同士の関わり合いを重視する。 ・ワークシートに資料のポイントやグループで出てきた意見を書かせる。
8分	<p>3 ジグソー活動に取り組む。</p> <p>○担当したエキスパート資料について交流し、得られたことを生かして、ジグソーの問題について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート資料を見せながら交流するようにさせる。 ・結論だけでなく理由を書かせる。
13分	<p>4 クロストークを行い、意見を交流する。</p> <p>○各グループの意見を出し合う。</p> <p>○「道の駅『とごうち』」に人がたくさん来る理由を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループで話し合ったことを発表させる。 ・児童の意見を生かし、話し合いをコーディネートしていく。
8分	<p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>○学習後の考えをワークシートに書く。</p>	

グループの人数や組み方

エキスパートは2人で3グループ構成
ジグソーは3人で2グループ構成